

令和 4年度 (3年度決算分) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策	地域包括ケアシステムの構築		電話番号	087-839-2346
	基本事業	在宅医療・介護連携の充実		事業実施主体	市
	事務事業	在宅医療・介護連携推進事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	医療と介護の両方を必要とする高齢者が安心して暮らせる地域づくりを推進するため、在宅医療従事者等で構成する在宅医療介護連携推進会議を開催し、在宅医療と介護サービスを一体的に提供できるよう、情報の共有と連携の強化に向けた地域の実情に応じたネットワークづくりを推進する。
-------	--

年度概要	(1) 地域における在宅医療・介護連携に関する現状分析・課題抽出・施策立案(計画) (2) 地域の在宅医療及び介護サービス事業者等の関係者や地域住民に対する対応策の実施 (3) 対応策の評価及び改善の実施
------	--

重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	1-	事務事業の類型	ソフト事業(法律による実施義務有)
--------	------	----------	----	---------	-------------------

【事業の目的】

対象(何を)	高松市民
意図(どのような状態にしたいか)	医療と介護が連携することで、安心して在宅で生活できる。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
在宅医療介護連携推進会議の開催数	回	6	5	6	6	6

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
多職種連携構築度評価平均得点	点	目標値	5.5	6	6.5	7	7
		実績値	5.6	5.1	5.1		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、関係者との十分な連携が取りづらい状況であり、医療や介護等、多職種の専門職が参加する研修会でのアンケート結果において、多職種連携構築度の評価平均点は5.1となり、目標を達成することができなかった。	(目標達成度)		(達成度) 78.5%				
							27点
成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)		目標値					
		実績値					
	(目標達成度)						(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 3年度(決算)	令和 2年度(決算)	令和 3年度(決算)	令和 4年度(予算)
トータルコスト	[千円]	26,855	24,302	20,607	22,708
(事業費)	[千円]	11,679	14,052	10,263	12,364
(職員人件費)	[千円]	15,176	10,250	10,344	10,344

【評価】

評価ランク (A~D)	B	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

介護保険法に基づいて、地域包括ケアシステムの実現に向け、切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築のため、PDCAサイクルに沿った取組を、在宅医療・介護連携推進事業において実施しており、更に在宅医療・介護連携を推進するためのルール作りや啓発について検討・協議を行っている。
また、令和 3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響等により、多職種間の連携が取りづらい状況であり、目標値は達成出来なかった。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

地域包括ケアシステムの構築に当たり、在宅医療・介護連携推進事業は重要な施策の一つであり、在宅医療サービスと介護サービスを一体的に提供するための、さらなる連携体制が必要である。
このため、高松市在宅医療介護連携推進会議において課題を検討しながら、医療・介護関係者間の顔の見える関係づくりを推進する研修会の開催や、在宅医療コーディネーターを養成するなど、引き続き在宅医療・介護連携推進事業に取り組む。